

平成29年度 第65回 防衛大学校開校記念祭
防衛大学校長式辞

本日この秋晴れのもと、第六十五回開校記念祭が開催されました。ご来賓の皆様方、そしてご来場の皆様方、本日は小原台までお越しくださいましてありがとうございました。防衛大学校を代表して心よりお礼を申し上げます。特に本日は、山本ともひろ防衛副大臣をお招きすることができました。お忙しい中お越しくださいましたことに心より御礼申し上げます。

さて、今年の流行語大賞の一つになりそうな言葉に「アウフ・ヘーベン」があります。これはご存じのように東京都知事が言われた言葉であります。実は社会科学や人文科学を専攻している研究者が結構好んで使う言い回しです。ドイツ語で「アウフ」というのは「上へ」という意味、そして「ヘーベン」というのはこれを上に「揚げる」ということになります。

この「アウフ・ヘーベン」という言葉はもともと、やや難しくなりますが、ヘーゲルというドイツの哲学者がいわゆる弁証法の説明の中で使った表現です。弁証法もやや言葉としては難しく聞こえますが、簡単に言えばこういうことになります。Aという考え方あるいはAというものがあれば、必ずこれに対してBという批判や対立物が出てくる。そのBという反作用が出て、AとBは葛藤し対立し合う。しかしそれはやがて一つの回答を見出す。その到達点がC。それはAとBの中身を加えつつ、Cというより高い段階へと上がっていくことを表しています。日本語では正・反・合という言い方で弁証法を説明しています。

この「アウフ・ヘーベン」という言葉を、日本語では一般に「止揚」というふうに訳しています。「止める」という字に「揚げる」。つまり「止めて揚げる」んだと、このような意味になっています。実は、今年の開校記念祭は学生たちの決めたテーマが「昇華」であります。ひょっとすると「止揚」という表現よりも、「昇華」の方が「アウフ・ヘーベン」に近いようにも思えます。つまり一歩上の段階に揚げていくという意味になります。

このいきさつについては、ご来場の皆様方に若干説明しなければならないことがあります。陸軍士官学校は六十一年の歴史が戦前ございました。それを戦後解体することによって新しい自由と民主主義の下での士官学校、防衛大学校を作りました。そしてすでに六十五年、ということは陸軍士官学校を完全に年数的には超えております。戦前の陸軍士官学校の中にももちろん一定の成果もありました。しかし問題点もありました。それを反省しつつ戦後に防衛大学校が誕生しました。つまりAとBの関係で防大が成立したのです。

防大の歴史もすでに六十年以上、この積み重ねを前提にこの数年、「新たな高みプロジェクト」という大きな改革プランを軌道に乗せてきました。教育、研究、訓練、学生舎生活、全ての面において更に一步上へ踏み出す。それは後ろを振り返るだけではなく、防衛大学校が世界一の士官学校になるという将来の大きな目標です。つまりグローバル・スタンダードの中で我々は存在する、こうした意識の中で「新たな高みプロジェクト」がスタートしたわけであります。つまりより高次の段階であるCを目指すということが学生諸君の中に深く浸透し伝わり、その結果が「昇華」という言葉で表現されたわけであります。学生と教職員が一体化し、防大を世界一に引き上げる。この目標に向かって我々は今力強く動いております。

私はかつて国際会議で、ヘーゲルが教授を務めたハイデルベルク大学に行ったことがあります。その時、ハイデルベルク大学の先生たちはヘーゲルの伝統から全てを三つで説明すると言い、そのような説明をしていました。私も最後に、「三つの感謝」を申し上げて、式辞の終わりにしたいと思います。

第一の感謝は、学生諸君。われわれは君たちを信頼する。君たちも教職員を信頼してほしい。世界一という大きな目標に向かって努力する学生諸君に感謝します。

第二の感謝は、防衛大学校を支えてくださっている多くの団体の皆様方、防大・学術・教育振興会や防大協力会、それに父兄会や保護者会、防大同窓会、それ以外にも防大を支えてくださっている多くの組織があります。そして、ここに集ってくださっている横須賀市の市民の方々、こうした多くの方々に深く感謝を申し上げたいと思います。

第三に感謝を申し上げたいのは、防大そのものを内部で支えてくださっている教職員の皆さんです。この開校記念祭もそうありますが、ありとあらゆる場面で一つの目的のために、つまり「全ては学生のために」というスローガンのもとで、教官、事務官、陸・海・空自衛官、全てが一つになって学生のために誠心誠意働いてくださっています。

この三つの感謝を申し上げて、今年度の私の式辞に替えたいと思います。このあと棒倒しまで、様々なプログラムが用意されておりますので、どうぞ防衛大学校の学生たちのエネルギーを感じていただければと思います。

ありがとうございました。

平成29年11月12日
防衛大学校長 國分 良成